VERTICAL BLIND

バーチカルブラインド

標準タイプ 〈ワンコード式〉

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、当社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性が想定される内容を示しています。

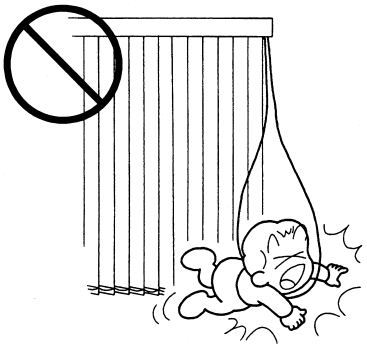
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

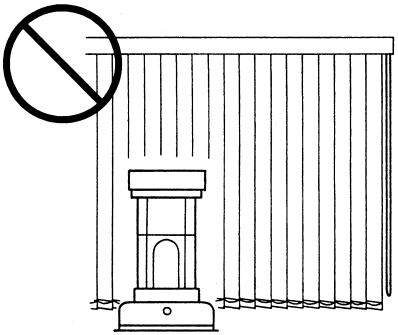
ご使用になる前にお読みください

警告

■お子様をコードで遊ばせないでください。コードやスラット（羽根）､ボトムコードが首や体に巻つくなどして、思わぬ事故を招く恐れがあります。



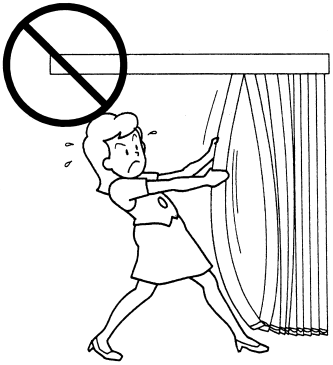
■火のそばではご使用にならないでください。スラット（羽根）やコード類が溶けたり、燃えたりして危険です。



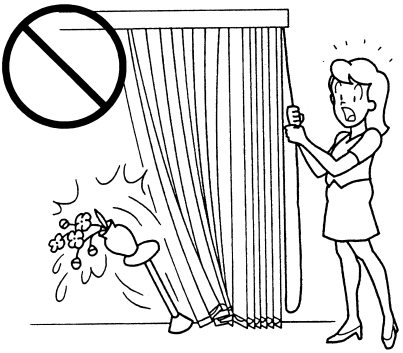
安全上のご注意（必ずお守りください）

注意

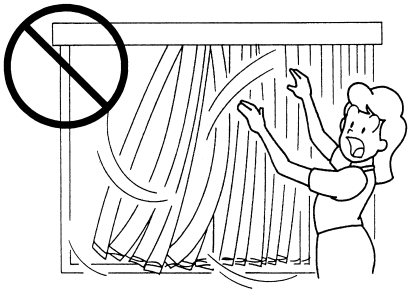
■スラット（羽根）やコードにぶら下がったり無理に引っぱったりしないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



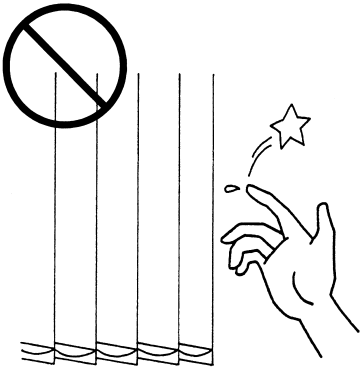
■製品の動く範囲内に人や動きを妨げるもの、壊れやすいものがないことを確認してから操作してください。けがをしたり、ものが破損する場合があります。



■窓を開ける時は、できるだけスラット（羽根）をたたみ込んでください。特に風の強い時は注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながることがあります。



■スラット（羽根）によっては、端部は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



この製品は室内用として作られたものです。
屋外ではご使用できません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お取付けになる前にお読みください

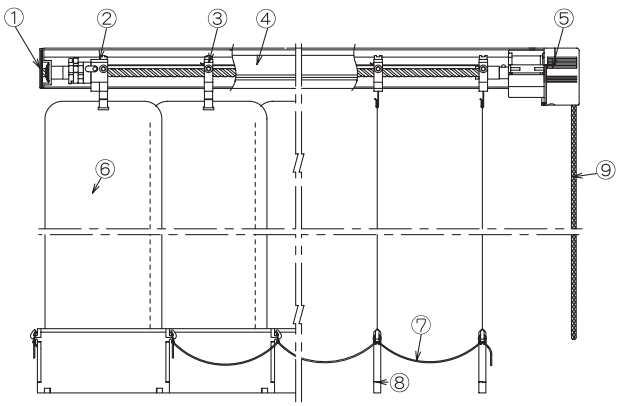
⚠ 警告

製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

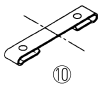
⚠ 注意

ブラケットを使って取付ける時には、ブラケットに製品本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

各部の名称



部　品　名
①サイドプレートキャップ
②リードランナー
③ランナー
④ハンガーレール
⑤正面カバー
⑥スラット
⑦ボトムコード
⑧バランスウエイト
⑨操作コード
⑩天井付けブラケット
⑪正面付けブラケット


⑩

⑪

※図はアルミスタンダード100mm の場合です。

付属部品

ハンガーレール	1 本／ 2 本※	ボトムコード	1 式
スラット	1 式	取扱説明書	1 枚
バランスウエイト	1 式		

※製品幅が6010㎜以上の場合、ハンガーレールは中央部でジョイントになります。
※スラットの種類によって、バランスウエイトはあらかじめセットされています。

取付けブラケットを使用する場合、下記部品が追加されます。

製品幅(単位:㎜)	1000以下	1010～2000	2010～3000	3010～4000	4010～5000	5010～6000	6010～7000
天井付けブラケット	2 個	3 個	4 個	5 個	6 個	7 個	8 個
正面付けブラケット							

※本仕様及び付属部品は、予告なく変更する場合があります。

製品の取付けかた

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄の当社支店までご連絡ください。

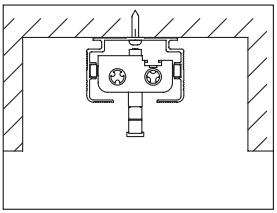
2）取付け下地の確認

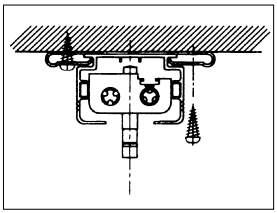
・木部に取付ける時は、厚さが10㎜以上であることを確認してください。
・取付け下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

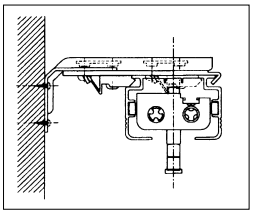
3）ハンガーレールの取付け

ハンガーレールの取付けかたは、図のような 3 つの方法があります。

『天井直付け（レール穴あり）』　『天井ブラケット付け』『正面付けブラケット付け』

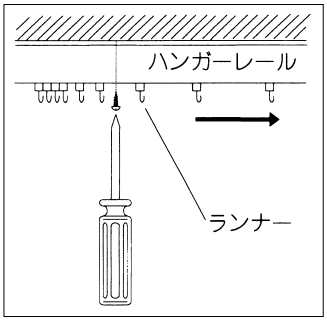






■天井直付け（レール穴あり）の場合

①ハンガーレールを取付け面に当て、前後・左右の位置を調整し、取付け位置を決めます。
②取付けビスを、あらかじめハンガーレールにあいているビス穴に通し、ドライバーで取付けてください。ビス穴がランナーの位置と重なっている場合は13ページの「操作のしかたー誘導操作」に従い、ランナーを移動させてからビス止めしてください。



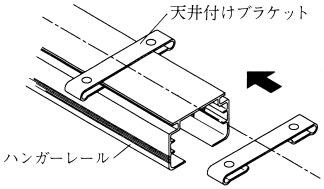
注意

全てのビス穴で、ハンガーレールを固定してください。
全て取付いていないと、製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

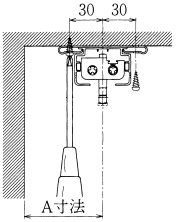
製品の取付けかた

■天井ブラケット付けの場合

①全ての天井付けブラケットをハンガーレールに差し込みます。



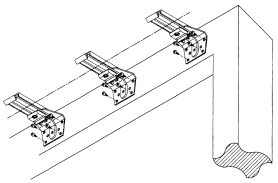
天井付けブラケットは製品両端部より、50㎜離した位置にセットします。
天井付けブラケットが 3 個以上の場合は、両端のブラケット間を等分にした位置にセットしてください。



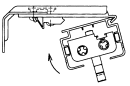
②ハンガーレールを取付け面に当て、前後・左右の位置を調整し、取付け位置を決めます。
②取付けビスを、天井付けブラケットにあいているビス穴に通し、ドライバーで取付けてください。

■正面付けブラケット付けの場合

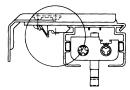
①製品両端部より、50㎜離した位置に天井付けブラケットをビスで固定してください。
天井付けブラケットが 3 個以上の場合は、両端のブラケット間を等分にした位置に取付けてください。
両サイドのブラケットと水平、且つ一直線上になるように取付けてください。



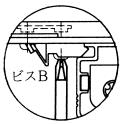
②ハンガーレールを両手で持ち、天井付けブラケットの手前のツメにハンガーレールを引っかけてください。



③ハンガーレールを天井付けブラケットに引っかけた状態で左右のバランスをみて位置を決めてください。



④ハンガーレールを矢印の方向にもっていき、「カチッ」と音がするまで押し上げてください。



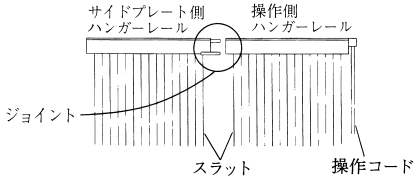
⑤ビスＢを締め、ハンガーレールを固定します。

⚠ 注意

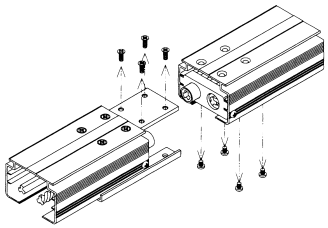
取付けブラケットにハンガーレールが確実に固定されていることを確認してください。
確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

製品の取付けかた

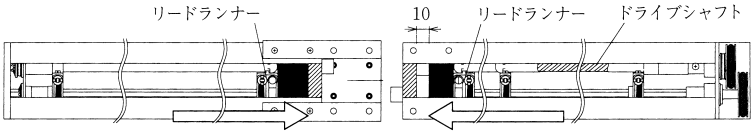
※製品幅が6010㎜以上の場合、ハンガーレールの組立てが必要となります。



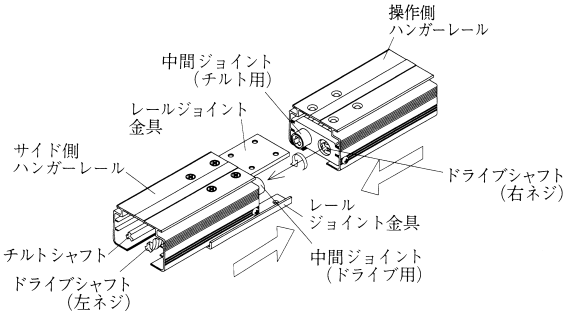
①ハンガーレールに仮付けされている片側のビス（上下各々４本）を外してください。（上部レールジョイントビス；３×８サラビス、下部レールジョイントビス；３×４ナベビス）



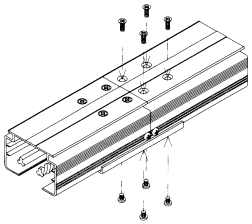
②下図のように、両側のリードランナーをジョイント部まで移動させます。
ただし、片側のリードランナーは、ジョイント端部から10㎜程隙間を持たせてください。



③ハンガレールをジョイント金具に合わせて差し込みます。中間ジョイントとシャフトを合わせて挿入してください。その際、ドライブシャフトをラジオペンチで回しながら差し込んでください。



④①で外したレールジョイントビスで、ハンガーレールを固定してください。



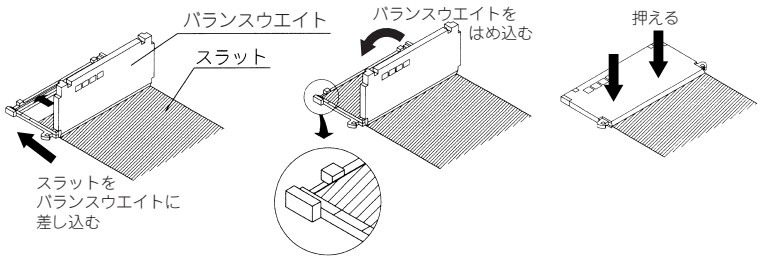
⑤ドライブコードで、ランナーを誘導し（取扱説明書ー操作方法参照）、リードランナーが完全に広がることを確認してください。

製品の取付けかた

4）バランスウエイトの取付け（アルミスラットの場合のみ）

バランスウエイトがあらかじめセットされている場合、バランスウエイトの取付けをする必要はありません。

図のようにスラットをバランスウエイトに差し込み、手ではさみ固定します。はまるとパチンと音がします。その後バランスウエイトのツメがスラットを確実にかみ込むまで、バランスウエイトの表面を押えてください。



製品の取付けかた

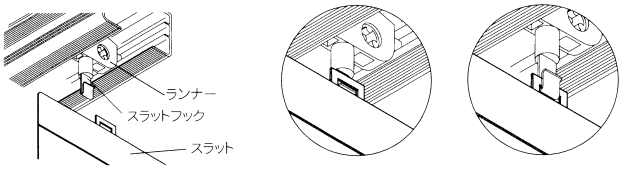
5）スラットの取付け

①スラットフックの損傷・スラットの汚れが無いことを確認してください。

②スラットフックの向きが揃っていることを確認してください。揃っていない場合「操作方法ー開閉操作」に従い、スラットフックを回転させ向きを揃えてください。

③スラットを1枚ずつスラットフックに掛けてください。

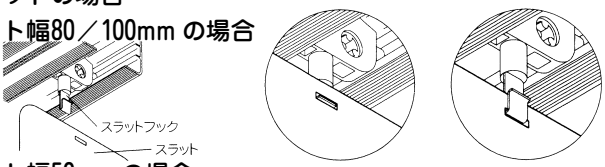
■ガラススラット・ポリエステルスラットの場合



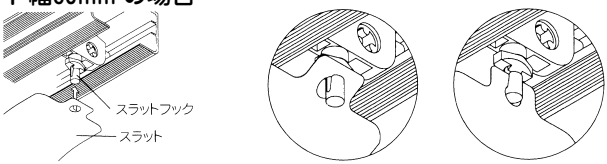
※表裏があるスラットの場合、すべて同じ向きに掛けてください。

■アルミスラットの場合

a）スラット幅80／100mm の場合



b）スラット幅50mm の場合

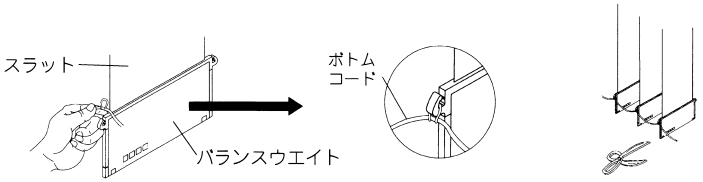


6）ボトムコードの取付け

下図のように、バランスウエイトのフックにボトムコードを掛けてください。

全部のバランスウエイトに掛け終わったら、余分なボトムコードを切ってください。

※一番端のバランスウエイト、及びボトムコードから取付けてください。



ガラススラット、アルミスラットは上から、ポリエステルスラットは下からボトムコードを取付けます。

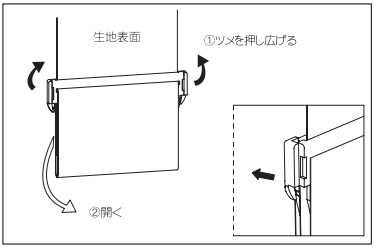
製品の取付けかた

7）スラットの調整（バランスウエイトが巻き込み仕様のみ）

取付けたスラットの長さが揃わない場合は、下記の要領で調整してください。

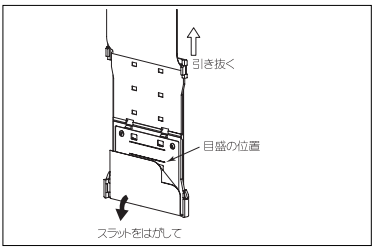
①バランスウエイトの両サイドのツメを広げ、外します。

②バランスウエイトを開きます。

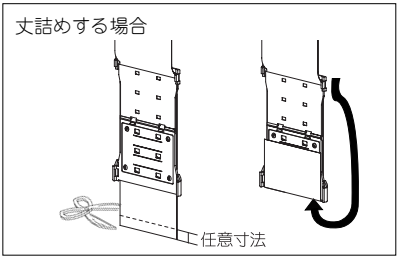


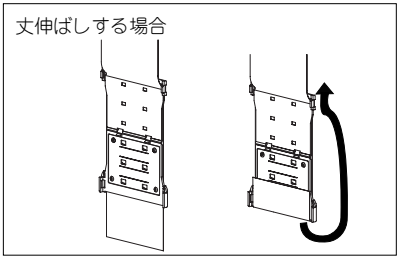
※バランスウエイトのツメを無理やり広げないでください。ツメが割れることがあります。

③スラットを裏返し、バランスウエイトからスラットを外します。



④スラットを丈詰めする場合はスラットの切断位置を決め、ハサミで切ってください。スラットを丈伸ばしする場合は伸ばす寸法をバランスウエイトの目盛で確認しながら、ずらしてください。





⑤バランスウエイトを元通りセットしてください。

⚠ 注意

スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。

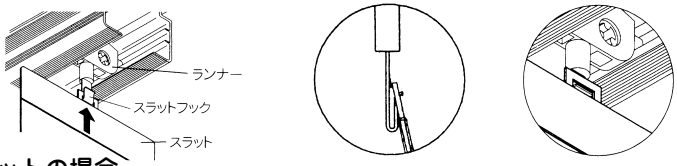
製品の取外しかた

1）スラットの取外し

①ボトムコードを、バランスウエイトから外します。

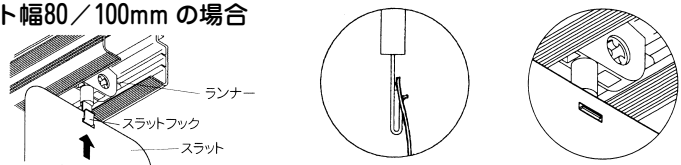
②すべてのスラットを、ランナーのスラットフックから外します。

■ガラススラット、ポリエステルスラットの場合

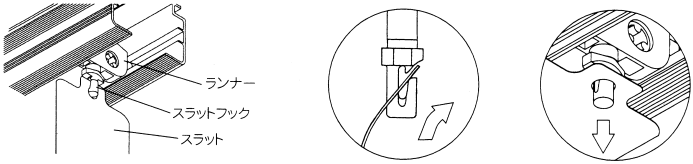


■アルミスラットの場合

a）スラット幅80／100mm の場合



b）スラット幅50mm の場合



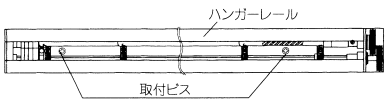
2）ハンガーレールの取外し

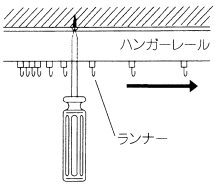
ハンガーレールの取外しは、スラットを取外してから行なってください。

■天井直付け（レール穴あり）の場合

ハンガーレールを手で持ち、取付けられているビスを緩め、ハンガーレールを取外します。

※ビスがランナー位置と重なっている場合、誘導操作を行ないランナーを移動させてからビスを外してください。





※上図はハンガーレールを下から見た図です。

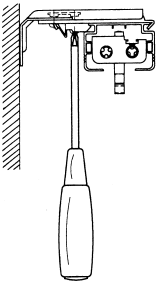
製品の取外しかた

■天井ブラケット付けの場合

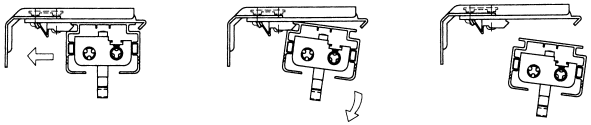
ハンガーレールを持ち、ブラケット取付けビスを緩め、ブラケットと一緒にハンガーレールを取外します。

■正面付けブラケット付けの場合

①それぞれのブラケットのビスBを、緩めてください。

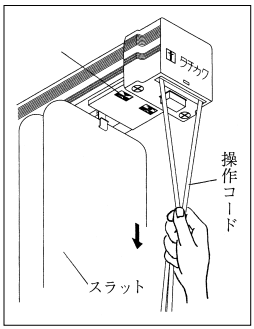


②ハンガーレールを持ち、図のように押し、ブラケットの手前のツメからハンガーレールを外してください。



操作のしかた

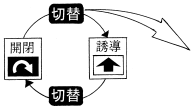
※1本の操作コードで、スラットの角度を調節する（開閉）操作やブラインドをたたみ込む・広げる（誘導）操作、及び操作の切り替えを行うことができます。



■操作の切り替え方法（開閉操作を誘導操作にする／誘導操作を開閉操作にする）

○操作コードの両側を同時に真下に引くと、開閉操作と誘導操作が交互に切り替わります。（切り替わると、操作部の表示が変わります。）

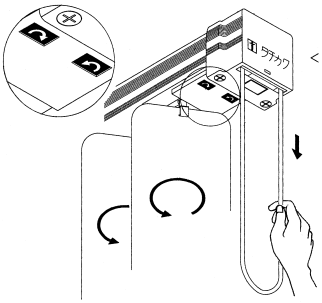
操作状態
操作部表示



■開閉操作（スラットの角度を調整する）

・操作コードのどちらか一方を下に引くと、スラットの角度が変わります。

※なんらかの要因でスラット角度に不揃いが生じた場合は、いったんすべてのスラットを全閉状態にしてから再び角度調節をすると揃います。

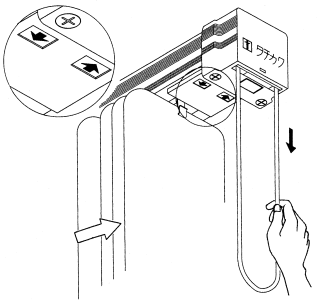


※上図は、右操作の場合です。

■誘導操作（ブラインドをたたみ込む･広げる）

・操作コードのどちらか一方を下に引くと、ブラインドがたたみ込まれるか、広がります。

※操作をする前に、ブラインドの動く範囲に障害物のないことを確認してから行ってください。



※上図は、右操作の場合です。

注意

・操作する前にスラットの動く範囲に障害物がないことを確認してください。
故障の原因となります。

・無理に操作コードを引かないでください。　故障の原因となります。

・操作コードは斜めに引かないでください。　コードの摩耗の原因となります。

・操作は必ずコードで行なってください。
直接スラットを手で引っ張ると故障の原因となります。

・スラットの誘導は、スラットをハンガーレールに対して垂直（＝全開状態）にしてから操作してください。
遮蔽状態で誘導すると、スラットを傷めたり、故障の原因となります。

スラットの洗濯方法（ウォッシャブルの場合）

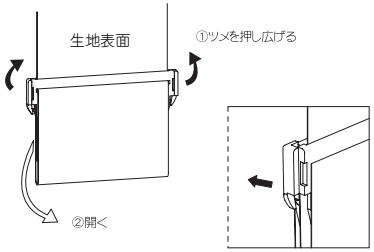
スラットがウォッシャブルのものはスラットを取外して、ご家庭の洗濯機で洗うことができます。
ウォッシャブルのスラットには、スラット裏面上部に洗濯絵表示が縫い付けてあります（1枚のみ）。
※ウォッシャブルのスラット以外は洗濯できません。

スラットの取外しかた

1）ボトムコードを取外します。
　バランスウエイトのフックからボトムコードを取外します。
2）スラットを取外します。
　ハンガーレールからスラットを取外します。スラットの取外しかたは11ページをご覧ください。
3）バランスウエイトを取外します。
　スラットからバランスウエイトを取外します。

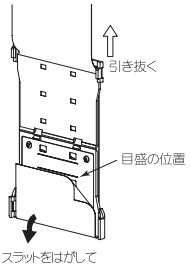
巻き込み仕様の場合

①バランスウエイトの両サイドのツメを広げ、外します。
②バランスウエイトを開きます。



※バランスウエイトのツメを無理やり広げないでください。ツメが割れることがあります。

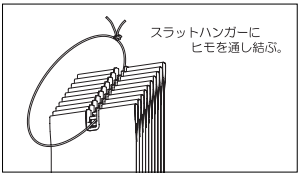
③スラットを裏返し、バランスウエイトからスラットを外します。

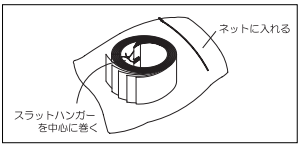


※バランスウエイトについている目盛の位置を忘れないようにしてください。洗濯後取付ける際に目盛の位置が必要になります。

スラットの洗濯方法（ウォッシャブルの場合）

4）スラットをまとめます。
①スラットを10枚程度まとめ、スラットハンガーにヒモ（各自ご用意ください）を通し、結びます。
②スラットハンガーを中心に巻き、巻きがほどけない大きさのネットに入れます。
※ネットが大きい場合は、巻きがほどけないように軽くヒモで結んでからネットに入れます。





注意

スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。

スラットの洗濯

《注意事項》

・スラットの一部が汚れた場合は、洗濯の前に汚れた部分を軽くたたき洗いしてから、スラット全体を洗濯してください。スラット全体を洗濯しないと部分的にシミになることがあります。
・スラットは必ず、ネットに入れ弱水流で洗濯してください。ほつれる可能性があります。
・生地の洗濯は、洗濯絵表示に従って行なってください。

・衣類など他のものと一緒に洗わないでください。
・漂白剤の使用は避けてください。
・タンブラー乾燥機は使用しないでください。
・乾燥は物干しなどに引っかけ、陰干しで乾燥させてください。
※乾燥する際には、スラットハンガーに通したヒモをほどき、1枚ずつ乾燥させてください。
・しわになりにくいスラットを使用していますが、乾燥後しわが気になるようであれば中温で軽くアイロンをかけてください。
※アイロンをかけるときは、上から押えるようにしてください。引っぱるようにアイロンを掛けるとスラットが伸びる可能性があります。

注意

スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。

スラットの洗濯方法

スラットの取付けかた

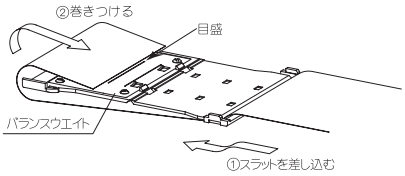
1）バランスウエイトを生地に取付けます。

バランスウエイトを生地に取付けます。

巻き込み仕様の場合

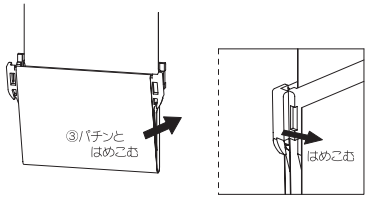
①バランスウエイトの上部のすき間からスラットを差し込みます。

②バランスウエイトの目盛（洗濯前の位置）に合わせてスラットを巻きつけます。



※ハンガーレールに取付け後、スラットの長さにばらつきがでた場合は、目盛の位置をずらして調整してください。

③バランスウエイトを折り曲げ、両サイドのツメをパチンとはめこみます。



注意

スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。

2）スラットを取付けます。

ハンガーレールにスラットを取付けます。スラットの取付けかたは 9 ページをご覧ください。

3）ボトムコードを取付けます。

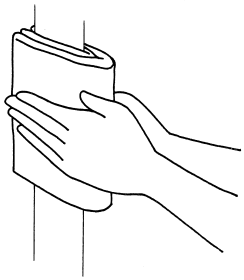
バランスウエイトにボトムコードを取付けます。ボトムコードの取付けかたは 9 ページをご覧ください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
●スラットの汚れがひどいときは、次の要領で汚れをとってください。
お手入れのしかたは、スラットの種類により異なります。

A．アルミスラット、ガラススラットの場合

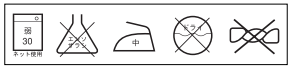
かたく絞った雑巾等で、スラットをはさみながら拭いてください。強く引っぱると、スラットが落下する恐れがありますのでご注意ください。汚れがひどいときは、中性洗剤を洗剤の表示に従ってお使いいただき、その後必ず水ぶきしてください。



B．洗濯絵表示が付いている生地の場合

洗濯絵表示が付いている生地は、生地だけを取り外して洗濯できます。

※洗濯表示ラベルが付いていない生地は洗濯できません。



C．上記A、B以外の場合

水を十分絞った布で軽く拭いてください。
洗剤は絶対に使用しないでください。
また水分が染み込んでしまうと、変色することがあります。

こんなときは

症　状	原　因	処　置
・スラットが落ちた。	・スラットフックが抜けた。	・ランナーの交換が必要です。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
・開閉操作ができない。	・ランナーに異常が生じている。	・お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
・製品が落ちた。	・取付けビスが抜けた。	・取付ける面の種類に応じた取付けかたで取付けてください。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より１年間は無償修理をさせていただきます。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。

・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。

・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。

・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、当社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率100%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2005.5
917339